

入試問題本文法 かつ問の内容が複数箇所

入試問題

2月6日実施 法学部(プラス試験)・経済学部(コア試験) 大問三 (一)E・(六)

りけむ。人の厳君、北の方などにて、踊みへばみたらむはさることにて、賞性人とてひたおもでに出せ立ち、なべて人に加るものにで我をからはべり」と言へは、「きるは、などか、他の末にちどまるばかりの「敵、着きとむるほどの身にではべらざから「敵、者 にいみじくはべらむ。 **wばかりの身をもちて、『このころはそれこそ』など人にも言はれず、世の末までも書きとどめられぬ身にてやみなむは、いヵ** 「女狗、后は、心にくく、いみじきためしに響き伝へられさせたまふばかりのは、いとありがたし。かなるわざを。淵に入りたまひなむず」と言ひて笑ふ。 く口惜しかるべきわざなりかし。昔より、いかばかりのことかは多かめれど、あやしの腰折れ一つ詠みて、集に入るこ いでや、いみじけれども、女ぼかり口惜しきものなし。昔より色を好み、道を習ふ縁 多かれども、女の、いまだ集など掛ぶ ・関こえむほどの人々思ひ出でて、その中に、少しもよからむ人のまねをしはべらばや」と言へば、「ものまねびは人のすま」 (女はいとかたかめり)。まして、世の末まで名をとどむばかりの言葉、言ひ出で、し出でたるたぐひは少なくこそ聞こえはご いとありがたきわざなんめり」など言へば、例の若き入、「さるにても鰈々かはべらむ。昔、今と こそ、いと口惜しけれ」と言へば、「必ず、集を撰ぶことのいみじかるべきにもあらず。繁式部が「淑氏」を作り、清

りかし。色を好み、歌を詠む者、昔より多からめど、 小町こそ、みめ、容観も、もてなし、心盪ひよりはじめ、何率

思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを 他びぬれば身をうき草の根を薦えて誘ふ水あらばいなむとぞ患ふ色見えで移ろふものは世の中の人の心の花にぞありける

河合塾

高3 2学期 標準古文·私大古文

チェックテスト問一(1)・問二-1

は、心にくく、いみじきためしに書き伝へられさせたまふばかりのは、いとありがたし。まし 香をも、心に染むとならば、かやうにこそあらまほしけれ」と言へば、 り。薄の、風に吹かるるたびごとに、目の痛くはべるに、引き捨てたまひたるなむ、いとうれ など詠みてはべるぞかし。広き野の中に薄の生ひてはべりける、かく聞こえたるなりけり。い 屍になりて後まで、 て末々はことわりなりかし。 に見たる人は、道信中将と人の申しはべるはまことにや。誰かは、。さることあるな。色をも しき。この代はりには、歌をいみじく詠ませたてまつらむと見えてはべりけるとかや。かの夢 とあはれにて、その薄を引き捨てはべりける夜の夢に、かの頭をば、小野小町と申す者の頭な 秋風の吹くたびごとにあな目あな目小野とは言はじ薄 生ひけり また、人、「されど、それは瞳の歌ばかりにて、きとものの用に立ちぬべきとかや」と言へば、

次の文章は、女性の会話によって展開する和欲に関する評論です。これを読んで、後の問題に答えなさい。(配点四十点)

「堀河院百首」「新院百首」、近くは九条殿の左大将と申しはべりし折の『百首』などはべるは。それを見ても題の歌はいとよく

「題の歌は、接集ならずとも

あはれ、折につけて、三位入道のやうなる身にて、集を揖びはべらばや。『千穀集』こそは、その人のしわざなれば、いと心

をいる。

2耳にもありがたき歌どもはべるを、生の、ところにはばかり、人のほどに片去る歌どもにはかき混ぜず振り出でたらば、いか なりゆく世の末に、この道ばかりこそ、山彦の跡絶えず、柿の木の塵尽きず、とかやうけたまはりはべれ。まことに、聞き知ら

いくくはべるを、あまりに人にところを置かるるにや、さし 心得ぬべし。なかなかいと美しきどもはべるめるは。

た、「老いの果てこそ、いと。うたてけれ。さしもなき人も、いとさまであることやははべる と言ふ人あれば、「それにつけても、 憂き世の定めなき思ひ知られて、あはれにこそはべれ。 と詠みたるも、女の歌はかやうにこそとおぼえて、 思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを 侘びぬれば身をうき草の根を絶えて誘ふ水あらば往なむとぞ思ふ… 色見えで移ろふものは世の中の人の心の花にぞありける くこそ」と言へば、ま

ひよりはじめ、何事も、いみじかりけむとおぼゆれ。 色を好み、歌を詠む者、昔より多からめど、小野小町こそ、みめ、容貌も、もてなし、 「ものまねびは人のすまじかなるわざを。調に入りたまひなむず」と言ひて笑ふ。『女郷、后はどの人々思ひ出でて、その中に、少しもよからむ人のまねをしはべらばや」と言へば、

例の若き人、「さるにても誰々かはべらむ。昔、今ともなく、おのづから「心にくく聞こえ

問二 傍線部1~3の現代語訳として適当なものをそれぞれ一

1 心にくく

イ 情け深いと

ロ 奥ゆかしいと

ハ めったにないと

ニ うらめしいと

aの和歌の「うき」は掛詞であるが、何と何が掛けられているか。それぞれ漢字を用い

☆ 傍線部③「うき」は掛詞になっています。「浮き」とともに掛けられている語を漢字で解答欄に記入しなさい。〔解答用紙

1 自然と異ゆかしいと評判になるほどの人々 E おのづから心にくく聞こえむほどの人々 4 自然と腹立たしい思いにさせるほどの人。 3 たまたますばらしいとうわさされた人々 2 たまたま身分の高い人と突逃できた人々

→ 傍線部A~Fの本文中の意味として なさい。〔解答用紙【】〕 `もっとも適切なものを、それぞれ後の1~4の中から一つ遊んで、解答欄にマ

河合塾